

作業部会の構成

区分	部会	政策・施策の分類	構成室課					
経営	1	行政経営	企画政策室	財政室	総務室	人事室	資産経営室	
			情報政策室	市民生活室	税務室	会計室		
まちづくり	2-1	人権・文化	人権平和室	文化のまちづくり室	男女共同参画室			
	2-2	産業振興・雇用就労	地域経済振興室	契約検査室				
	2-3	市民自治	地域自治推進室	地域総務室	市長室	市民相談室		
	3	福祉・保健・医療	地域福祉室	保健センター	子育て支援室	こども発達支援センター	福祉指導監査室	
			高齢福祉室	障がい福祉室	国民健康保険室	病院総務室	医療事務室	
	4	子育て・教育	教育政策室	こども育成室	教育総務室	学校管理室	学校教育室	保健給食室
			教育センター所	生涯学習推進室	青少年室	子育て青少年拠点 夢つながり未来館	スポーツ推進室	
5	環境	環境政策室	地域環境室	資源循環室	廃棄物処理施設 整備室			
6	快適な都市形成	都市整備室	道路公園企画室	開発審査室	住宅政策室	吹田操車場跡地 まちづくり室	千里再生室	道路公園管理室
		道路公園整備室	下水道経営室	水循環室	水再生室	経営室	工務室	浄水室
7	安全・安心	危機管理室	総務予防室	警防救急室	指令情報室			

中間報告シートの見方

総合計画検討中間報告シート			
第2部会	政策・施策の分類	人権・文化	関連部局 教育政策室、生涯学習推進室、学校教育室、文化財保護課
平成32年度(2020年度)までにめざすまちの姿《都市像》 <b>都市像=現計画の施策大綱にあたるもの</b>			
都市像タイトル <b>一人ひとりの人権とさまざまな文化を認め合う平和なまち</b>			
概要文 平和の尊さが感じられ、市民一人ひとりの人権感覚が生まれ、男女が対等な社会の構成員として希望と誇りを持って、個性豊かに生活できるまちになっています。 また、国内外の交流により多文化が共生するまち、多彩な文化が生まれ生きがいのあるまちになっています。			
基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》	
タイトル 平和の尊さが実感できています。	非核平和への貢献	↑ 見直し後の基本計画に表記する予定です	
概要文 「非核平和都市宣言」に基づいた核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けた事業に市民の自主的な参加がなされ、戦争の悲惨さを風化させない市民の自主的・持続的な取り組みがなされ、平和の尊さを次世代に伝えるまちとなっています。		指標の概要	平和祈念資料室の年間利用者数
		現状値(H22)	3,421人
		目標値(H32)	10,000人
		備考	目標値は資料館のもの
基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》	
タイトル 一人ひとりの命や個性を大切に する人権感覚が育まれています。	人権の保障		
概要文 市民が自発的に学習できるような人権啓発がなされ、市民とともに人権の視点に立った事業を行うことにより、市民一人ひとりがお互いの違いを認め合い、真に個人が尊重される個性豊かに生活できるまちが形成されています。		指標の概要	人権意識が向上していると思う市民の割合
		現状値(H22)	22.2%
		目標値(H32)	40.0%
		備考	
基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》	
タイトル 男女共同参画社会が実現されています。	市民、事業者との協働 すいた男女共同参画プランの推進 男女共同参画センター主催事業等の実施		
概要文 男女共同参画社会基本法は、男女共同参画社会の実現を21世紀の最重要課題と位置づけ、吹田市では、吹田市男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画社会の形成に関する取組を総合的かつ計画的に実施することにより、市民が性別に関わりなく能力や個性を發揮し、対等な社会の構成員としてあらゆる分野に参画できる社会が形成されています。		指標の概要	男女が共に個性や能力を發揮できる社会になってきていると思う市民の割合
		現状値(H22)	27.0%
		目標値(H32)	50.0%
		備考	
		主な指標《基本目標を測定する指標》	
		指標の概要	女性のいない審議会等の割合
		現状値(H22)	10.0%
		目標値(H32)	0%
		備考	

# 総合計画検討中間報告シート

第1部会	政策・施策の分類 行政経営	関連部局
------	------------------	------

平成32年度（2020年度）までにめざまちの姿《都市像》

基本方針	持続可能なまちづくりに向けた行政経営の確立
<p>概要文</p> <p>将来像の実現に向けた政策・施策の最適化が図られ、将来にわたって安定的に市民満足度の高い行政サービスが提供できる市役所になるよう、健全な財政運営、最適な資産管理、職員的能力向上など効果的かつ効率的な行政運営を長期的かつ多角的な視点を持って進める行政経営の基盤づくりが進められています。</p>	

タイトル	基本姿勢
<p>将来にわたって安心できる安定した行財政運営が進められています。</p> <p>概要文</p> <p>迅速な対応ができる行政組織の体制、行政評価を中心としたマネージメントシステム活用による政策・施策・事業の最適化と最適な担い手による行政サービスの提供など「ムダ、ムリ、ムラ」のない効果的な行財政運営が進められています。</p>	

主な取組	<p>将来にわたって安定した財政運営</p> <p>行政評価と計画が連動したマネージメントシステムの確立（第3者評価と分かりやすい計画進捗管理）</p> <p>迅速な決定ができる体制の確立</p> <p>最適な担い手による公共サービスの提供（アウトソーシング計画の推進）</p> <p>行財政改革の推進</p>
------	---

主な指標《基本目標を測定する指標》	
指標の概要	経常収支比率
現状値（ ）	
目標値(H32)	95.0%以下
備考	

タイトル	基本姿勢
<p>環境の変化にも柔軟に即応し効果的な行政運営を担う人材が育っています。</p> <p>概要文</p> <p>将来にわたって、吹田のまちが持続的に発展できるよう、既存概念にとらわれることなく、豊かな感性と柔軟な発想を持ち、粘り強く改善改革を実践し行動する人材が育っています。</p>	

主な取組	<p>時代の変化に即応できる政策形成能力やネットワーク形成力の向上</p> <p>マネージメント能力の向上</p>
------	---

主な指標《基本目標を測定する指標》	
指標の概要	事務改善提案数
現状値（ ）	
目標値(H32)	
備考	

タイトル	概要文	基本姿勢
<p>良好な施設機能の安定的な提供とインフラの維持保全が計画的に行われ安心できる都市基盤が整っています。</p> <p>世代を超えた市民の共有財産である公共施設について、行政需要との適合など、全体最適の視点で、計画的な管理運用が進められ、良好な施設機能が提供できています。</p> <p>施設の集約化に伴う余剰資産や未利用地の活用による公共施設の最適化の財源循環を確立し施設の計画的な維持保全等を行うとともに、ライフサイクルコストの縮減が図られています。</p> <p>また、道路、水道、下水道などのインフラについても機能がストップすることがないように計画的な維持保全が施され安全なまちになっています。</p>		

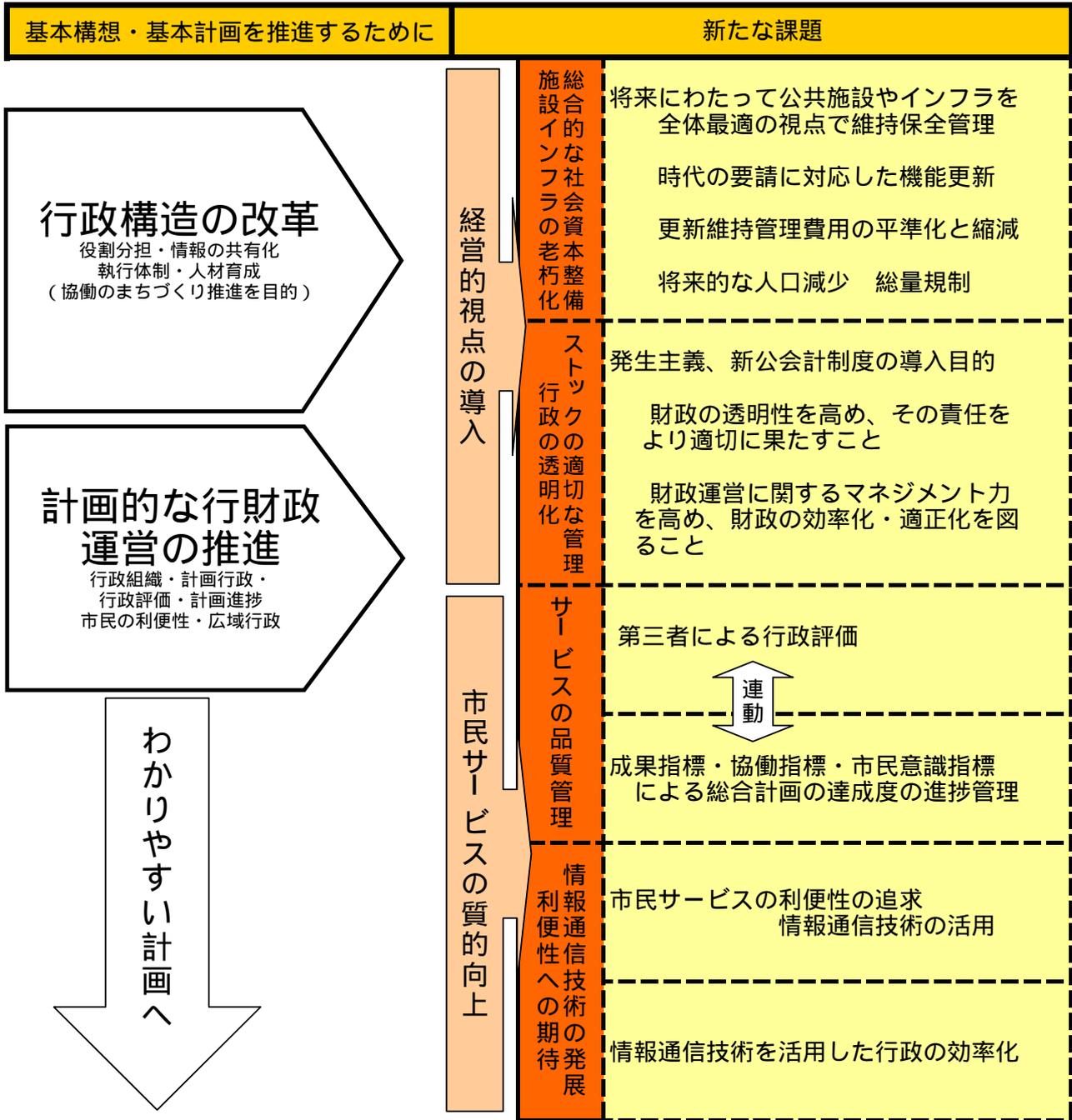
主な取組	<p>施設白書・用地活用検討書による情報の共有</p> <p>有効な公有資産の利活用</p> <p>公共施設の最適化の推進</p>
------	---

主な指標《基本目標を測定する指標》	
指標の概要	公共施設の維持管理に満足している市民の割合（新たに調査の必要あり）
現状値（ ）	
目標値(H32)	
備考	

タイトル	概要文	基本姿勢
<p>利便性の向上が図られ市民満足度の高いサービスが実施されています。</p> <p>多くの市民が利用する証明書等の発行などについて、ICT技術や民間インフラの活用により身近な場所で、都合の良い時間帯で行政サービスを受けることができる環境が整い、利便性の向上が図られています。</p>		

主な取組	<p>ICT活用による市民サービスの向上</p> <p>民間インフラを活用した市民サービスの向上</p>
------	--

主な指標《基本目標を測定する指標》	
指標の概要	施策全般（大綱の総合評価の平均値）について、満足している市民の割合（市民意識調査）
現状値（ ）	
目標値(H32)	
備考	



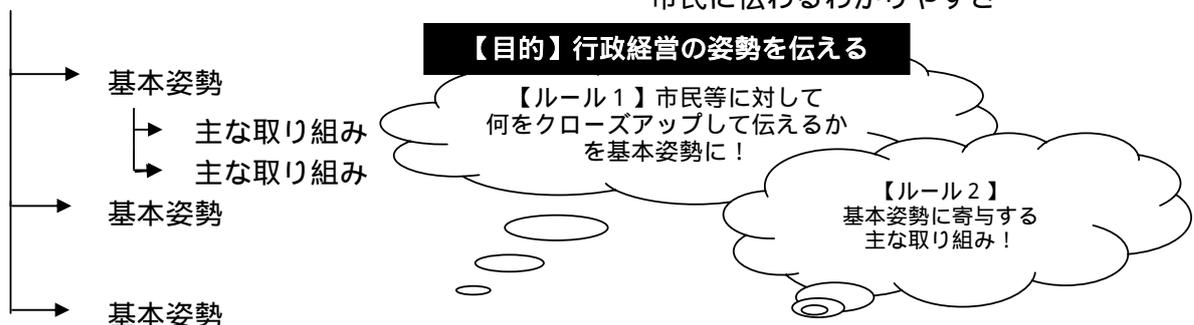
総合計画の課題検討集(案)から抜粋  
総合計画の役割 【効率的かつ効果的な行政経営の姿勢を市民等に明らかにする役割】

### 1 体系の検討

上記の新たな課題を踏まえて【行政経営編】として、分かりやすい体系の整理が必要

都市像を支える基本目標(行政経営を支える幹となる柱(政策))を検討

【行政経営の姿勢】基本方針 行政経営の基本的な方針。 【コンセプト】 市民に伝わるわかりやすさ



# 総合計画検討中間報告シート

第2部会	政策・施策の分類	人権・文化	関連部局	教育政策室、生涯学習推進室、学校教育室、文化財保護課
------	----------	-------	------	----------------------------

平成32年度（2020年度）までにめざすまちの姿《都市像》

都市像タイトル	一人ひとりの人権とさまざまな文化を認め合う平和なまち
<p>概要文 平和の尊さが感じられ、市民一人ひとりの人権感覚が育まれ、男女が対等な社会の構成員として希望と誇りを持って、個性豊かに生活できるまちになっています。 また、国内外の交流により多文化を認め合うまち、多彩な文化が育まれ生きがいのあるまちになっています。</p>	

基本目標
タイトル 平和の尊さが実感できています。
概要文 「非核平和都市宣言」に基づいた核兵器の廃絶と恒久平和の実現に向けた事業に市民の自主的な参加がなされ、戦争の悲惨さを風化させない市民の自主的・持続的な取り組みがなされ、平和の尊さを次世代に伝えるまちとなっています。

主な取組 主な指標《基本目標を測定する指標》

主な取組	非核平和への貢献	指標の概要	平和祈念資料室の年間利用者数
		現状値(H22)	3,421人
		目標値(H32)	10,000人
		備考	目標値は資料館のもの

基本目標
タイトル 一人ひとりの命や個性を大切に する人権感覚が育まれています。
概要文 市民が自発的に学習できるような人権啓発がなされ、市民とともに人権の視点に立った事業を行うことにより、市民一人ひとりがお互いの違いを認め合い、真に個人が尊重される個性豊かに生活できるまちが形成されています。

主な取組 主な指標《基本目標を測定する指標》

主な取組	人権の保障	指標の概要	人権意識が向上していると思う市民の割合
		現状値(H22)	22.2%
		目標値(H32)	40.0%
		備考	

基本目標
タイトル 男女共同参画社会がより一層推進されています。
概要文 男女共同参画社会基本法では、男女共同参画社会の実現を21世紀の最重要課題と位置づけています。市民が性別に関わりなく能力や個性を発揮し、対等な社会の構成員としてあらゆる分野に参画できる社会を目指して、吹田市では、吹田市男女共同参画推進条例を制定し、条例に基づく具体的な行動計画であるすいた男女共同参画プランによる男女共同参画社会の形成に関する取り組みを総合的かつ計画的に実施して男女共同参画社会がより一層推進されています。

主な取組 主な指標《基本目標を測定する指標》

主な取組	市民、事業者との協働 すいた男女共同参画プランの推進 男女共同参画センター主催事業等の実施	指標の概要	男女が共に個性や能力を発揮できる社会になってきていると思う市民の割合
		現状値(H22)	27.0%
		目標値(H32)	50.0%
		備考	

主な指標《基本目標を測定する指標》

指標の概要	女性のいる審議会等の割合
現状値(H22)	90%
目標値(H32)	100%
備考	

基本目標
タイトル 女性に対するあらゆる暴力の根絶のための基盤づくりが整備されています。
概要文 女性に対する暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害であり、その回復を図るとともに、インターネットや携帯電話の普及により、ますます多様化する暴力の根絶のための基盤づくりを吹田市の責務と考えます。よって、啓発活動の推進やDV被害者に対する支援体制の充実等を図り、安心して暮らせるまちづくりのために女性に対するあらゆる暴力の根絶のための基盤づくりが整備されています。

主な取組 主な指標《基本目標を測定する指標》

主な取組	すいたストップDVステーション（DV相談室）の周知 デートDV予防啓発事業等の実施	指標の概要	DV相談室の認知度
		現状値( )	未測定
		目標値(H32)	100%
		備考	

主な指標《基本目標を測定する指標》

指標の概要	
現状値( )	
目標値(H32)	
備考	

基本目標
タイトル 文化が身近に感じられるまちになっています。
概要文 芸術文化活動や生活文化活動、地域文化など市民文化を支える人材を育成するとともに、文化の振興と創造、継承・発展に積極的にかかわり、生きがいのある営みがつくられる環境になっています。

### 主な取組

主な指標《基本目標を測定する指標》

文化の振興  
 文化を育む環境づくり  
 文化財の保存と活用

指標の概要	市民文化祭・芸術展覧会入場者数
現状値(H22)	26,828人
目標値(H32)	30,000人
備考	

基本目標
タイトル 国や地域の人との交流が育まれています。
概要文 異なる文化の人たちがお互いを理解しあうための機会をつくとともに、吹田市が持つまちの良さを活かした交流を進め、まちの魅力を伝えるための情報を交換し、広く伝えることで、吹田市を国内外を問わず第2のふるさとして体感してもらえるような状況になっています。

### 主な取組

主な指標《基本目標を測定する指標》

国際感覚の醸成  
 国際理解の推進  
 多文化を認め合うまちづくり  
 都市間交流の推進

指標の概要	国内交流事業の数
現状値(H22)	24
目標値(H32)	30
備考	

## 総合計画検討中間報告シート

第2部会	政策・施策の分類 地域経済の活性化	関連部局 地域経済振興室 市民相談室 市民相談課
------	----------------------	--------------------------------

平成32年度(2020年度)までにめざすまちの姿《都市像》

都市像タイトル	人が集い、企業を育む、都市魅力あふれるまち吹田
<p>概要文</p> <p>「交通利便に優れ、文化と教養の薫り高いまち」というポテンシャルの高さに加え、産学官一体となって企業活動を支える体制が充実した本市に、意欲ある優良企業が数多く進出し、地元雇用も創出されます。開業率が廃業率を上回り、産業都市としての吹田の都市格が向上し、さらなる企業集積が図られ、職住近在のまちづくりが促進されます。ワークライフバランスのとれた市民は、地域コミュニティにも積極的に参画し、その核としての役割を担う地元商店街に集い、地元消費も拡大され、地域経済の循環と活性化が図られます。</p>	

基本目標1	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
<p>タイトル</p> <p>元気な企業が集積するまちづくりを進めます。</p> <p>基本目標の概要</p> <p>商工会議所、大学等との連携・協力関係を深め、起業家支援をはじめ、中小企業成長支援施策を拡充し、企業の定着促進を図ることで、本市の特性である開業率が一層高まり、廃業率を逆転します。また、地域経済の循環及び活性化に資する企業誘致を進め、産業振興並びに雇用促進を図ります。人が交流し、安心して買物ができ、生活利便性に富んだ、地域コミュニティを支える魅力あふれる商業地づくりを進め、地域のにぎわい創出を図ります。</p> <p>“都市魅力発信”に視点を置いた観光施策を推進し、市民・企業から選ばれる自治体を目指します。</p>	<p>中小企業振興</p> <p>地域コミュニティを支える商業地づくり</p> <p>地域の特性を生かした都市型観光の推進</p> <p>地域性を生かした都市農業の推進</p> <p>うるおいのある都市農業の推進</p>	<table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>吹田市の開業率と廃業率</td> </tr> <tr> <td>現状値(H21)</td> <td>開業率15.2%(全国7位) 廃業率20.0%</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>開業率と廃業率を逆転させる</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	吹田市の開業率と廃業率	現状値(H21)	開業率15.2%(全国7位) 廃業率20.0%	目標値(H32)	開業率と廃業率を逆転させる	備考	
指標の概要	吹田市の開業率と廃業率									
現状値(H21)	開業率15.2%(全国7位) 廃業率20.0%									
目標値(H32)	開業率と廃業率を逆転させる									
備考										

基本目標2	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
<p>タイトル</p> <p>いきいきと働きがいをもって就労できる環境を整えます。</p> <p>基本目標の概要</p> <p>JOBナビすいたの機能を十分活用し、各種相談や職業紹介、講座開催など就職困難者の就労ニーズに応じたきめ細かな支援を実施するとともに、地元企業やハローワークなどの関係機関との連携を深め、雇用・就労促進を図り、市内就職者増につなげ、職住近在のまちづくりを進めます。</p> <p>個々が働きがいを持ちながら働き続けることができるよう、勤労者福祉施策の充実、労働条件の整備に努めます。</p>	<p>雇用・就労の支援</p> <p>勤労者福祉の充実、労働条件の整備</p>	<table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>JOBナビすいた、JOBカフェすいた就職者数</td> </tr> <tr> <td>現状値(H23)</td> <td>789人</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>1,000人</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	JOBナビすいた、JOBカフェすいた就職者数	現状値(H23)	789人	目標値(H32)	1,000人	備考	
指標の概要	JOBナビすいた、JOBカフェすいた就職者数									
現状値(H23)	789人									
目標値(H32)	1,000人									
備考										

基本目標3	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
<p>タイトル</p> <p>消費者保護を推進します。</p> <p>基本目標の概要</p> <p>地域経済の活性化を図るうえで、消費者保護の推進も重要な課題です。消費者被害の未然防止と救済により消費者の利益擁護を図るとともに消費生活情報を提供し、自立した消費者の育成に取り組みます。</p>	<p>消費者保護の推進</p> <p>消費者啓発の推進</p>	<table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>市立消費生活センターの認知度</td> </tr> <tr> <td>現状値(H18)</td> <td>51.3%</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>現状より増加</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	市立消費生活センターの認知度	現状値(H18)	51.3%	目標値(H32)	現状より増加	備考	
指標の概要	市立消費生活センターの認知度									
現状値(H18)	51.3%									
目標値(H32)	現状より増加									
備考										

# 総合計画検討中間報告シート

第2部会	政策・施策の分類 都市内分権の確立	関連部局	地域自治推進室・地域総務室・市民相談室 市民相談課 情報公開課・市長室 広報課
------	----------------------	------	---

平成32年度(2020年度)までにめざすまちの姿(都市像)

都市像タイトル	都市内分権による活力ある地域コミュニティが形成されたまち
概要文	まちづくりの主体は市民です。まちづくりの基盤になるのは地域コミュニティです。有益な情報発信及び個人情報の適正な取扱いを図りながら、地域コミュニティの活性化及び市民公益活動の活発化により、良好な地域コミュニティを形成し、都市内分権が確立されたまちづくりをめざします。

<b>基本目標</b> 都市内分権が確立されたまちづくりをめざします <基本目標の概要> 住民自治の原点である「地域のことは地域で決める」「住民が市政に参画する」という「都市内分権の確立」に向け、既存組織の理解と協力を得ながら、本市にふさわしい新たな地域組織の検討を進めます。	<b>主な取組</b> 地域特性を生かした地域組織の設立への支援 市政への市民参画の推進	<b>主な指標(基本目標を測定する指標)</b> <table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>新たな地域組織の組織率</td> </tr> <tr> <td>現状値( )</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>小学校単位で50%</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	新たな地域組織の組織率	現状値( )	0%	目標値(H32)	小学校単位で50%	備考	
指標の概要	新たな地域組織の組織率									
現状値( )	0%									
目標値(H32)	小学校単位で50%									
備考										

<b>基本目標</b> コミュニティ活動の充実 <基本目標の概要> 市民公益活動を支援することで、地域の様々な課題に取り組む自治会をはじめとする各種団体が協働して、より豊かなコミュニティを築き、新たな地域組織の形成に寄与できるようにします。	<b>主な取組</b> 市民公益活動における課題解決のための支援 市民公益活動団体間の交流・連携の促進 市民公益活動センターの活用推進	<b>主な指標(基本目標を測定する指標)</b> <table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>市民公益活動団体数</td> </tr> <tr> <td>現状値(H22)</td> <td>288団体</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>現状より増加</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	市民公益活動団体数	現状値(H22)	288団体	目標値(H32)	現状より増加	備考	
指標の概要	市民公益活動団体数									
現状値(H22)	288団体									
目標値(H32)	現状より増加									
備考										

<b>基本目標</b> 有益な情報の発信 <基本目標の概要> 良好な地域コミュニティの形成にあたっては、情報の内容や対象者によって、広報媒体をうまく組み合わせ、主に市民に対し、効果的な市政情報の発信を行うとともに、個人情報の適正な取扱いに努めます。	<b>主な取組</b> わかりやすい市報へ内容を充実 CATVの特性を生かした情報発信 SNS等を活用したインターネットによる情報発信、情報収集	<b>主な指標(基本目標を測定する指標)</b> <table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>市民意識調査「市が発信する情報に満足している市民の割合」</td> </tr> <tr> <td>現状値(H22)</td> <td>34.9%</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>5割増</td> </tr> </table>	指標の概要	市民意識調査「市が発信する情報に満足している市民の割合」	現状値(H22)	34.9%	目標値(H32)	50%	備考	5割増
指標の概要	市民意識調査「市が発信する情報に満足している市民の割合」									
現状値(H22)	34.9%									
目標値(H32)	50%									
備考	5割増									

<b>基本目標</b> (空白)	<b>主な取組</b> (空白)	<b>主な指標(基本目標を測定する指標)</b> <table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状値(H22)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要		現状値(H22)		目標値(H32)		備考	
指標の概要										
現状値(H22)										
目標値(H32)										
備考										

<b>基本目標</b> タイトル 概要文	<b>主な取組</b> (空白)	<b>主な指標(基本目標を測定する指標)</b> <table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状値( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要		現状値( )		目標値(H32)		備考	
指標の概要										
現状値( )										
目標値(H32)										
備考										

# 総合計画検討中間報告シート

第3部会	政策・施策の分類	福祉・保健・医療	関連部局	総務部、まち産業活性化部、都市整備部、道路公園部、学校教育部
------	----------	----------	------	--------------------------------

平成32年度(2020年度)までにめざまちの姿《都市像》

都市像タイトル	誰もが住み慣れた地域で支え合い、健康で安心して暮らせるまち
概要文	子どもや障がい者、高齢者が、住み慣れた地域で、ともに支え合い、健康で安心して暮らし続けられるまちは、すべての市民にとって暮らしやすいまちになっています。

基本目標
一人で悩まず安心して子育てができるようまち全体で支援している
地域のネットワークの充実により、家庭の子育て不安・負担感を軽減・解消し、特に配慮を必要とする児童らの成長に向けた、療育・保健・保育面などの支援体制のもとで安全で安心して子育てができる環境になっています。

主な取組
・子育て施設や子育て情報の提供
・子育て施策の推進とネットワークの整備
・家庭訪問の推進、療育システムの充実
・虐待の早期発見・対応、虐待親支援プログラムの推進、ひとり親家庭の自立支援の促進
・安全管理員等と防犯ボランティアの配置

主な指標《基本目標を測定する指標》	
指標の概要	安心して子育てできる環境にあると思う子育て世帯の割合(市民意識調査で測定)
現状値(H22)	57.8%
目標値(H32)	70%
備考	

基本目標
高齢者が健やかに安心・安全に暮らしている
高齢者が生きがいを持って生活を続けることができるように、健康づくり・介護予防に取り組んでいます。また、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる地域社会になっています。

主な取組
・社会参加・生きがい事業の推進
・健康づくり・介護予防・生活支援の推進
・介護保険サービスの充実

主な指標《基本目標を測定する指標》	
指標の概要	要介護認定を受けている高齢者の割合
現状値(H23)	18.41%
目標値(H32)	19.23%
備考	目標値はH26年度の計画推計、これ以上上昇せず横ばいをめざすものです。

基本目標
障がい者が地域で安心して生活し、様々な分野の活動に参加している
障がい者に実質的な平等を保障し、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生できる社会を実現し、障がい者があらゆる分野の活動に参加する機会や、どこで誰と生活するかを選択する機会を確保することによって、共に生きるまちづくりを進めます。

主な取組
・各種障がい福祉サービス提供基盤の整備
・グループホーム等の計画的な整備
・障がい者雇用促進に関する周知・啓発
・就労相談、就労支援体制の充実

主な指標《基本目標を測定する指標》	
指標の概要	グループホーム等利用者数
現状値(H23)	219人
目標値(H32)	460人以上
備考	H26計画値460人

基本目標
住み慣れた地域でともに支え合いながら暮らしている
市民誰もが、住み慣れた地域で、互いに尊重し合い、ともに支え合いながら、健やかで安心して暮らせるよう、地域福祉活動の充実したまちになっています。また、高齢者、障がい者など支援を必要とする人が、地域で孤立することなく、福祉サービス等が適切に利用できる環境が整っています。

主な取組
・地域で支え合う見守り相談支援のネットワークと福祉活動の充実
・災害時要援護者支援体制の整備
・福祉サービス利用者の権利擁護の充実
・生活環境の整備

主な指標《基本目標を測定する指標》	
指標の概要	小地域ネットワーク活動(グループ援助活動)の延べ参加人数
現状値(H23)	86,163人
目標値(H32)	100,000人以上
備考	参加人数に地区福祉委員含む。

基本目標
生涯にわたって心身ともに健康に暮らしている
「健康づくり都市宣言」のもと、地域で市民が生涯にわたって自ら積極的に健康管理や健康づくりに取り組んでいます。市民一人一人のライフステージに応じた保健サービスがそれを支えています。 また、病院と病院、病院と診療所との連携による地域医療体制や救急医療体制が充実し、市民が安心して暮らしています。

主な取組
・健康づくりの啓発と支援
・市民のニーズに応じた保健サービスの実施
・生活習慣病予防対策の実施
・地域医療体制の充実

主な指標《基本目標を測定する指標》	
指標の概要	吹田市国保健診(40歳から74歳)及び30歳代健診年間受診者数
現状値(H22)	32,965人
目標値(H32)	53,000人以上
備考	H25年度目標53,000人

現在の第3次総合計画基本計画のうち、今回の中間報告に載せない施策（細節）の名称とその理由

施策番号351 低所得者福祉

生活保護は、生活に困窮する者に対し、国が「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を保障する」とともに、その自立を助長する制度であり、市はその実施責任を負っています。

扶助の決定や自立支援の実施方法等は、生活保護実施要領に細かく規定されており、国からはそれに基づいた適正な実施を求められています。

このような国の責任による最低生活保障制度の方向性や数値目標を総合計画に設定することはなじまないと判断しました。

施策番号352 社会保障制度（国民健康保険・国民年金）

(1)国民健康保険

国民健康保険制度を含む、医療保険制度については、現在国において、大きな見直しの検討に入っているところです。国の描いた当初の予定では、見直しの具体像が示されている時期であるが、「社会保障と税の一体改革」について、その一つである消費税法案の審議が参議院ではじまったところです。

国民健康保険は、保険者規模についての議論が続いており、また、高齢者の医療制度との兼ね合いもあり、検討状況を含め、その動向については、随時市民に対し情報提供を行っていくべきものと考えますが、総合計画に位置付けるものではないと判断しました。

(2)国民年金

国民年金制度については、市町村における主な業務は相談業務であり、国保と同じく、国における制度についての検討状況等の情報発信は当然行っていくべきものであるが、総合計画に位置付けるものではないと判断しました。

## 総合計画検討中間報告シート

第4部会	政策・施策の 分類	子育て・教育	関連部局	子育て支援室・こども育成室・学校教育室・保健給食室・教育センター・教育総務室・教育政策室・学校管理室・生涯学習推進室・青少年室・スポーツ推進室
------	--------------	--------	------	---

平成32年度(2020年度)までにめざまちの姿《都市像》

都市像タイトル	ともにつながり未来を拓く人づくり
<p>人は生涯にわたって成長し続けたいという願いを持っています。人や社会とのつながりの中で、安心して子どもを産み育てることができ、さらに多様な学びの機会が提供されることにより、生きる力と自主性・自律性を備えた市民が育っています。人が人を育て、人が地域を育て、市民一人ひとりが、まちづくりの主役としていきいきと生活しています。</p>	

基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
<p>安心して子育てができる地域社会が形成されています</p> <p>安心して子育てができ、将来を担う子どもたちの人間形成に寄与するように、子育て世代が孤立することなく、子育て・教育など多方面において地域ぐるみでの支援体制が整っています。</p>	<p>乳幼児医療助成の拡大</p> <p>地域支援センター機能の充実</p> <p>病児・病後児施設の整備</p>	<table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>医療助成制度</td> </tr> <tr> <td>現状値(H23)</td> <td>(通院)就学前児童 (入院)小学校卒業年度末</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>義務教育終了時まで拡大</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	医療助成制度	現状値(H23)	(通院)就学前児童 (入院)小学校卒業年度末	目標値(H32)	義務教育終了時まで拡大	備考	
指標の概要	医療助成制度									
現状値(H23)	(通院)就学前児童 (入院)小学校卒業年度末									
目標値(H32)	義務教育終了時まで拡大									
備考										
基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
<p>学校・家庭・地域のつながりの中で、子どもたちが自らの学びを高め、成長できる社会が形成されています</p> <p>安心安全と豊かな教育環境が提供され、人や社会とつながりながらこれからの時代を担う子どもたちの確かな学力と豊かな人間性、健やかな体(総合的人間力)が育まれています。</p>	<p>魅力ある授業づくり(小中一貫教育の推進)</p> <p>教職員の指導力の向上(研修、評価活動の充実)</p> <p>安心安全な教育環境づくり</p> <p>学校施設設備の充実</p> <p>外部人材の活用</p>	<table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>大阪府学力学習状況調査で「学習意欲の項目」の肯定回答の割合</td> </tr> <tr> <td>現状値(H23)</td> <td>57%</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	大阪府学力学習状況調査で「学習意欲の項目」の肯定回答の割合	現状値(H23)	57%	目標値(H32)	70%	備考	
指標の概要	大阪府学力学習状況調査で「学習意欲の項目」の肯定回答の割合									
現状値(H23)	57%									
目標値(H32)	70%									
備考										
基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
<p>子どもや青少年が安心して安全に、出会いや交流を通じて成長できる社会が形成されています</p> <p>子どもたちや青少年が、安心して安全に成長するために、仲間づくりができる居場所が設置されているとともに、それを見守り支援するための家庭や地域、関係する団体や関係機関のネットワークが構築されています。そして、地域の教育力向上のための人材確保、人材の育成、スキルアップをするための環境も充実しています。</p>	<p>連携・ネットワークの構築</p> <p>人材確保とスキルアップ</p> <p>相談体制の充実</p> <p>拠点施設(居場所)の整備</p>	<table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>地区青少年対策委員会実施事業参加延べ人数</td> </tr> <tr> <td>現状値(H23)</td> <td>年間約65,000人</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>年間約80,000人</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	地区青少年対策委員会実施事業参加延べ人数	現状値(H23)	年間約65,000人	目標値(H32)	年間約80,000人	備考	
指標の概要	地区青少年対策委員会実施事業参加延べ人数									
現状値(H23)	年間約65,000人									
目標値(H32)	年間約80,000人									
備考										
基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
<p>「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」が生涯を通じて、主体的に学べる環境になっています。</p> <p>学習活動することを支援し、市民参画や大学等との連携による推進体制が整備された環境になっています。あらゆる年齢層の市民が必要とする場面で情報等を手に入れることができ、また、生涯学習の場として日常的に利用できる身近な図書館・公民館・博物館が整備されています。</p>	<p>生涯学習体制の充実</p> <p>生涯学習を行うための情報の充実</p> <p>サービスの適正化</p> <p>魅力的で参加しやすい講座の開設</p> <p>学校・社会教育施設との連携</p>	<table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>生涯学習吹田市民大学講座の開催回数</td> </tr> <tr> <td>現状値(H23)</td> <td>82回</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>100回</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	生涯学習吹田市民大学講座の開催回数	現状値(H23)	82回	目標値(H32)	100回	備考	
指標の概要	生涯学習吹田市民大学講座の開催回数									
現状値(H23)	82回									
目標値(H32)	100回									
備考										
基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
<p>すべての市民が「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる、生涯スポーツ社会が形成されています</p> <p>生涯にわたってスポーツに親しめる、魅力あるプログラム提供や指導者の養成確保及び各スポーツ団体の育成と安全で気軽に利用できる施設の整備が行われています。</p>	<p>体育・スポーツ施設の整備</p> <p>指導者の養成・確保と資質の向上</p> <p>スポーツ関係団体の育成</p> <p>生涯スポーツの促進</p>	<table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>成人の週1回以上のスポーツ実施率を50%にする。</td> </tr> <tr> <td>現状値(H23)</td> <td>33.6%</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	成人の週1回以上のスポーツ実施率を50%にする。	現状値(H23)	33.6%	目標値(H32)	50%	備考	
指標の概要	成人の週1回以上のスポーツ実施率を50%にする。									
現状値(H23)	33.6%									
目標値(H32)	50%									
備考										

# 総合計画検討中間報告シート

第5部会	政策・施策の分類	環境	関連部局	環境政策室、地域環境室、資源循環室
------	----------	----	------	-------------------

平成32年度(2020年度)までにめざすまちの姿《都市像》

都市像タイトル	みどりと水 光と風 地域をはぐくみ地球をまもる 環境先進都市すいた
概要文	<p>市民・事業者の環境意識が大幅に向上し、節エネ・省エネルギーの取組が推進されるとともに、再生可能エネルギーが積極的に導入され、環境に配慮したライフスタイルや事業活動への転換が定着しつつあります。</p> <p>また、生活を豊かで快適なものとするため、身近な環境を保全し、みどりや水辺に親しめる空間、多様な生物が生息する空間を確保するための取組が市民・事業者との協働で進められています。</p>

基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
<p>タイトル エネルギーを適正に利用できる低炭素社会への転換</p> <p>概要文 市民一人ひとりの意識の高まりにより行動の変容が拡大しています。それにより、節エネルギーが進み、省エネルギー機器の普及、再生可能エネルギーの利用が進んでいます。温室効果ガスの排出量は目標の25%削減(1990年度比)を達成し、都市レベルでの改革に向けて、個人のライフスタイルの転換が定着しています。</p>	<p>1. ライフスタイル、事業活動の転換による節エネルギーの推進</p> <p>2. 高効率機器による省エネルギーの拡大</p> <p>3. 低炭素なエネルギーの利用促進</p>	<table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>吹田市域の年間温室効果ガス排出量</td> </tr> <tr> <td>現状値(H21)</td> <td>142万トン</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>131万トン</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>市民一人あたりも同様</td> </tr> </table>	指標の概要	吹田市域の年間温室効果ガス排出量	現状値(H21)	142万トン	目標値(H32)	131万トン	備考	市民一人あたりも同様
指標の概要	吹田市域の年間温室効果ガス排出量									
現状値(H21)	142万トン									
目標値(H32)	131万トン									
備考	市民一人あたりも同様									

基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
<p>タイトル 資源を有効に利用する社会づくり</p> <p>概要文 再使用、再生利用への意識が更に高まり、コミュニティレベルでの取組が展開されています。発生抑制を優先する資源循環の考え方が市民や事業者に拡大することにより、ごみの年間排出量25%削減の目標を達成し、大量生産、大量消費、大量廃棄の経済活動からの脱却の意識が定着しています。</p>	<p>1. 発生抑制を優先する社会への転換</p> <p>2. 市民参加に配慮したリサイクルシステムの構築</p> <p>3. 排出者責任の確立と事業系ごみの減量促進</p> <p>4. 資源循環に配慮した収集体制や処理システムの構築</p>	<table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>ごみの年間排出量</td> </tr> <tr> <td>現状値(H23)</td> <td>12.0万トン</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>10.1万トン</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>25%削減を目標</td> </tr> </table>	指標の概要	ごみの年間排出量	現状値(H23)	12.0万トン	目標値(H32)	10.1万トン	備考	25%削減を目標
指標の概要	ごみの年間排出量									
現状値(H23)	12.0万トン									
目標値(H32)	10.1万トン									
備考	25%削減を目標									

基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
<p>タイトル 健康で安全な生活環境の保全</p> <p>概要文 大気汚染や水質汚染など、事業活動や自動車に伴う環境汚染への監視体制、継続的な取組の充実が図られています。また、まちの環境美化が市民・事業者との協働で推進されるとともに、ハード・ソフトの両面でヒートアイランド対策が充実し、健康かつ安全で快適な市民生活が確保されています。</p>	<p>1. 事業活動に伴う公害防止対策の推進</p> <p>2. 自動車公害防止対策の推進</p> <p>3. 有害化学物質等による環境汚染の未然防止</p> <p>4. 環境美化の推進</p> <p>5. ヒートアイランド対策の推進 など</p>	<table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>二酸化窒素(50.0%) 河川BOD(92.5%) 一般環境騒音(68.0%)</td> </tr> <tr> <td>現状値(H22)</td> <td>上欄による</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>環境基準の達成率</td> </tr> </table>	指標の概要	二酸化窒素(50.0%) 河川BOD(92.5%) 一般環境騒音(68.0%)	現状値(H22)	上欄による	目標値(H32)	100%	備考	環境基準の達成率
指標の概要	二酸化窒素(50.0%) 河川BOD(92.5%) 一般環境騒音(68.0%)									
現状値(H22)	上欄による									
目標値(H32)	100%									
備考	環境基準の達成率									

基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
<p>タイトル 人と自然とが共生する良好な環境の確保</p> <p>概要文 民有地や公共の場のみどりが保全され、適切に維持管理されることにより、憩いの場が提供されています。また、みどりのネットワークの形成が進み、多様な生き物が生息・生育できる空間が確保されています。それらは、人が癒され、親しめるみどりの場となっています。</p>	<p>1. 現存するみどりの保全・継承</p> <p>2. 地域特性に応じたみどりの創造</p> <p>3. 生物多様性の保全</p> <p>4. みどりのネットワークの形成</p> <p>5. 人と地域が親しめるみどりの活用</p>	<table border="1"> <tr> <td>指標の概要</td> <td>吹田市域の緑被率</td> </tr> <tr> <td>現状値(H16)</td> <td>26.7%</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>樹木や芝生等の植物で覆われた土地、樹冠投影面積を対象とする</td> </tr> </table>	指標の概要	吹田市域の緑被率	現状値(H16)	26.7%	目標値(H32)	30%	備考	樹木や芝生等の植物で覆われた土地、樹冠投影面積を対象とする
指標の概要	吹田市域の緑被率									
現状値(H16)	26.7%									
目標値(H32)	30%									
備考	樹木や芝生等の植物で覆われた土地、樹冠投影面積を対象とする									

基本目標
<b>タイトル</b> <b>快適な都市環境の創造</b>
<b>概要文</b> 都市景観形成地区の指定や歴史文化的環境を活かしたまちが形成されています。また、良好な景観の形成を阻害する違法簡易広告物があふれていない清潔できれいなまちが保たれています。土地利用の転換に伴う住宅建設に際しては、近隣への影響を軽減したり、広域的・総合的な観点からまちづくりを誘導する仕組みが整えられています。
基本目標
<b>タイトル</b> <b>連携・協働による取組の推進</b>
<b>概要文</b> 低炭素社会構造の実現に向け、市民、事業者、市民公益活動団体、行政など、立場の異なる組織や人同士が、信頼関係に基づき対等な関係に立ちつつ、それぞれの得意分野を生かしながら、連携・協力し合う。
基本目標
<b>タイトル</b> <b>環境学習・環境教育の推進</b>
<b>概要文</b> 学校における環境教育の機会を増やすために、教材の充実やサポート人材の育成に取組めます。また、環境教育等促進法の趣旨に基づき、環境保全の意欲の増進及び協働取組の総合的、効果的かつ効率的な推進を図る。

主な取組
1. 景観に配慮したまちづくり 2. 歴史・文化資源の保存と活用 3. 快適な交通環境づくり 4. 環境に配慮した開発事業の誘導
主な取組
1. 「アジェンダ21すいた」による環境パートナーシップ活動の推進 2. 環境情報の整備と積極的な発信 3. 活動や交流の場の整備 4. 相互評価制度に基づく地域版環境マネジメントシステムの構築 5. 大学連携による共同研究の推進
主な取組
1. 実践活動を推進する人材の育成 2. 学校・園における環境教育の支援 3. 児童生徒参加型の学校ピオトープの整備 4. 体験型環境教育機会の拡大

指標の概要	景観形成地区指定数累計
現状値(H23)	11地区(41.0ha)
目標値(H32)	15地区
備考	

主な指標《基本目標を測定する指標》

指標の概要	
現状値( )	
目標値(H32)	
備考	

主な指標《基本目標を測定する指標》

指標の概要	
現状値( )	
目標値(H32)	
備考	

# 総合計画検討中間報告シート

第6部会	政策・施策の分類 快適な都市形成	関連部局	都市整備部、道路公園部、下水道部、水道部
------	---------------------	------	----------------------

平成32年度（2020年度）までにめざすまちの姿《都市像》

都市像タイトル	誰もが、将来にわたって安心して暮らせるまち
<p>都市施設、土地利用など都市整備の相互の調整がされ、道路、公園、上下水道など耐震や雨水対策など安全が最優先された計画的な保全整備ができています。</p> <p>また、過度に自動車に依存しない誰もが安全な交通環境や多様なニーズに対応したものとして、誰もが安心して暮らせる住環境が整っています。</p> <p>さらに、景観に配慮したまちづくりに取り組むことにより、魅力あふれた快適な都市空間が形成されています。</p>	

<p><b>基本目標</b></p> <p>暮らしや都市活動を支える都市基盤整備が進んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適正な土地利用の誘導が進んでいます</li> <li>都市基盤整備に関わる各主体が事業に取り組み、地域の特性を生かした活力のあるまちづくりが進んでいます。</li> <li>都市経営コストの効率化に配慮したまちづくりが進んでいます。</li> <li>市民など多様な主体との協働によるまちづくりが進んでいます。</li> </ul>	<p><b>主な取組</b></p> <p>用途地域などの都市計画制度の活用</p> <p>各主体による都市基盤整備の推進</p> <p>都市施設のライフサイクルコストの縮減に向けた取組み</p> <p>市民フォーラム等の実施による協働による取組み</p>	<p>主な指標《基本目標を測定する指標》</p> <table border="1"> <tr> <th>指標の概要</th> <td>定住意向</td> </tr> <tr> <td>現状値(H22)</td> <td>66.2</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	定住意向	現状値(H22)	66.2	目標値(H32)	70	備考	
指標の概要	定住意向									
現状値(H22)	66.2									
目標値(H32)	70									
備考										
<p><b>基本目標</b></p> <p>良好な住環境が形成されています</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民、事業者、行政との協働により、地域の特性を生かした良好な住環境づくりが進んでいます。</li> <li>開発事業に関する早期の情報開示により、良好な近隣関係と生活環境が保持されています。</li> </ul>	<p><b>主な取組</b></p> <p>開発事業の手続等に関する条例の運用</p> <p>建築協定や地区計画などのルール化の活用</p> <p>アドバイザー派遣による市民のまちづくりの支援</p>	<p>主な指標《基本目標を測定する指標》</p> <table border="1"> <tr> <th>指標の概要</th> <td>地域環境についての満足度</td> </tr> <tr> <td>現状値(H22)</td> <td>60.4</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	地域環境についての満足度	現状値(H22)	60.4	目標値(H32)	65	備考	
指標の概要	地域環境についての満足度									
現状値(H22)	60.4									
目標値(H32)	65									
備考										
<p><b>基本目標</b></p> <p>魅力あふれる美しいまち並みが形成されています</p> <p>景観意識の向上を図りつつ、地域の特性を生かした良好な都市景観の形成に努め、魅力あふれる美しいまちづくりが進んでいます。</p>	<p><b>主な取組</b></p> <p>景観まちづくり条例の運用</p> <p>景観形成地区の指定</p> <p>景観まちづくり活動への支援</p> <p>景観意識の向上を図る啓発の取組み</p>	<p>主な指標《基本目標を測定する指標》</p> <table border="1"> <tr> <th>指標の概要</th> <td>まちなみが美しいと感じる市民の割合</td> </tr> <tr> <td>現状値(H22)</td> <td>57.2</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	まちなみが美しいと感じる市民の割合	現状値(H22)	57.2	目標値(H32)	65	備考	
指標の概要	まちなみが美しいと感じる市民の割合									
現状値(H22)	57.2									
目標値(H32)	65									
備考										
<p><b>基本目標</b></p> <p>豊かなみどりとふれあえ、利用しやすい公園として市民に親しまれています。</p> <p>効率的かつ効果的なみどりの保全、整備、維持管理を進めていくために、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を主体的に担うことができる仕組みを整えています。また、市民が使いやすく安心して遊べる公園づくりが進んでいます。</p>	<p><b>主な取組</b></p> <p>みどりの保全・整備・維持管理に関する施策の推進（仮称）みどりの協議会の発足</p> <p>公園施設の安心・安全対策</p> <p>提供公園・遊休地を利用した公園整備</p>	<p>主な指標《基本目標を測定する指標》</p> <table border="1"> <tr> <th>指標の概要</th> <td>市民一人当たりの都市公園面積</td> </tr> <tr> <td>現状値(H21)</td> <td>9.18m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>9.74m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>(H37年度目標)10m<sup>2</sup></td> </tr> </table>	指標の概要	市民一人当たりの都市公園面積	現状値(H21)	9.18m <sup>2</sup>	目標値(H32)	9.74m <sup>2</sup>	備考	(H37年度目標)10m <sup>2</sup>
指標の概要	市民一人当たりの都市公園面積									
現状値(H21)	9.18m <sup>2</sup>									
目標値(H32)	9.74m <sup>2</sup>									
備考	(H37年度目標)10m <sup>2</sup>									
<p><b>基本目標</b></p> <p>誰もが安全で快適な交通環境整備が進んでいます</p> <p>駅舎や生活関連経路等の歩道等における移動上又は施設の利用上の利便性及び安全性の向上が図られ、誰もが安心して移動等ができる交通環境が整っています。</p> <p>歩道等における自転車等の放置がなくなり歩行者等の安全及び通行機能の保持が図られています。</p>	<p><b>主な取組</b></p> <p>交通バリアフリーの推進（駅舎、歩道等）</p> <p>レンタサイクルの実施</p> <p>自転車、原動機付自転車の移送（撤去）</p>	<p>主な指標《基本目標を測定する指標》</p> <table border="1"> <tr> <th>指標の概要</th> <td>生活関連経路等のバリアフリー化率</td> </tr> <tr> <td>現状値(H22)</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	生活関連経路等のバリアフリー化率	現状値(H22)	30%	目標値(H32)	100%	備考	
指標の概要	生活関連経路等のバリアフリー化率									
現状値(H22)	30%									
目標値(H32)	100%									
備考										

主な指標《基本目標を測定する指標》

基本目標
自動車に過度に依存しない交通環境整備が進んでいる
・複数の公共交通事業間の乗り継ぎなどの情報提供の充実が進んでいます。 ・既存バス路線の見直しや交通結節点等での公共交通機関の利便性向上が図られ、利用しやすい状態になっており、自動車に過度に依存しない交通環境が整っています。

主な取組
公共交通マップの配布等による情報提供
既存バス路線の見直し
コミュニティバスの本格運行
レンタサイクルの実施

指標の概要	コミュニティバス1便当たり乗車人員
現状値(H22)	11人
目標値(H32)	15人
備考	

基本目標
安全で快適に利用できる道路網が整備されています。
計画的な都市計画道路の整備により、広域的な道路網が形成され、円滑で機能的な移動ができる環境が整っています。 また、歩道整備等により道路機能が向上し、歩行者、自転車等が安全で快適に利用できる道路空間になっています。

主な取組
都市計画道路の整備
歩行者、自転車等の安全で快適な交通の確保

指標の概要	都市計画道路の整備率
現状値(H23)	81%
目標値(H32)	85%
備考	

基本目標
安定した安心・安全の水道
安全で安心な水道水の安定的な供給については、現状では一定の水準を維持しています。今後、一斉に老朽化が進行する施設・管路の更新や大規模な地震の発生に備えた耐震化など、急務となっている事業の推進を図りながら、お客さまとともに地域の水道を守りはぐくみます。

主な取組
安全でおいしい水の供給
安定した水道システムの確立
お客さまへのサービスの充実
環境に配慮した事業の推進
将来にわたり安定した経営基盤の構築

指標の概要	基幹管路の耐震化率
現状値( )	H23年度末 29.9%
目標値(H32)	50%
備考	

基本目標
被災リスクが減少し、良好な環境が整い、安心・安全・快適な暮らしができています。
下水道施設の建設・改築・更新の工事が計画的に進むことにより、下水道施設の耐震性や放流水質が向上するとともに、大雨による浸水被害の軽減を図り、安心・安全・快適な市民生活が実現できています。

主な取組
浸水被害を軽減するための雨水施設の整備
長寿命化計画を基にした老朽化施設の計画的な改築・更新
下水汚泥や高度処理水などを環境に貢献するよう再利用の推進

指標の概要	10年確率降雨に対応した下水道雨水対策整備率
現状値(H22)	50.40%
目標値(H32)	70%
備考	

基本目標
すべての市民が住み続けたい安心で魅力ある住まいづくり
概要文 吹田市住宅マスタープラン(吹田市住生活基本計画)に基づく総合的な住宅政策の推進により、すべての市民が住み続けたい安心で魅力ある住まいづくりを目指します。

主な取組
安心・安全なくらしの確保
居住の安定化の推進
環境負荷の低いくらしへの転換
住まいとくらしの適正化
吹田らしい魅力の醸成

指標の概要	借上型市営住宅管理戸数
現状値(H23)	55戸
目標値(H32)	150戸
備考	

# 総合計画検討中間報告シート

第7部会	政策・施策の分類	安心・安全	関連部局	危機管理室、消防本部
------	----------	-------	------	------------

平成32年度(2020年度)までにめざまちの姿《都市像》

都市像タイトル	安心して暮らせる安全なまちづくり
概要文	<p>地震、風水害等の自然災害に備えた防災体制や、各種犯罪の未然防止に努めるための防犯体制の強化が図られ、市民の防災、防犯活動に関する意識が高まっています。また、ライフラインである上水道や下水道の耐震など安全を優先した維持・保全が計画的に行われています。</p> <p>さらに火災時や救急時に迅速に対応する消防力の向上を図ることにより、子どもから高齢者、障がい者など市民の誰もが安心して暮らせるまちが形成されています。</p>

基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
市民の防災に対する意識が高く備えができている	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 防災環境の整備</li> <li>2 危機管理体制の確立</li> <li>3 地域防災力の向上</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">指標の概要</td> <td>災害に備えている市民の割合</td> </tr> <tr> <td>現状値( )</td> <td>23.80%</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>50.00%</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	災害に備えている市民の割合	現状値( )	23.80%	目標値(H32)	50.00%	備考	
指標の概要	災害に備えている市民の割合									
現状値( )	23.80%									
目標値(H32)	50.00%									
備考										
《基本目標の概要》 防災講座や防災訓練の充実により、市民一人ひとりの防災意識を高めるとともに、地域防災リーダーを養成し、地域の防災力が向上しています。 また、地域防災計画等の見直しなど、市民が安心して暮らせる危機管理体制が確立しています。										

基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
犯罪が少なく安全で安心して過ごしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 防犯環境の整備</li> <li>2 防犯体制の充実</li> <li>3 警察との連携と防犯意識の高揚</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">指標の概要</td> <td>治安が良いと感じる市民の割合</td> </tr> <tr> <td>現状値( )</td> <td>33.50%</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>50.00%</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	治安が良いと感じる市民の割合	現状値( )	33.50%	目標値(H32)	50.00%	備考	
指標の概要	治安が良いと感じる市民の割合									
現状値( )	33.50%									
目標値(H32)	50.00%									
備考										
《基本目標の概要》 防犯講座等を充実させ、市民一人ひとりの防犯意識が高まっています。 また、関係機関や市民と連携・協力した防犯に関する取組が進めることで、犯罪が減少し、誰もが不安を感じることなく生活できています。										

基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
備えと予防ができおり火事が減っている	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 消防体制の整備</li> <li>2 火災予防の推進</li> <li>3 消火・救助活動の充実</li> <li>4 救急活動の充実</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">指標の概要</td> <td>年間火災件数</td> </tr> <tr> <td>現状値(H22)</td> <td>80件</td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td>72件</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要	年間火災件数	現状値(H22)	80件	目標値(H32)	72件	備考	
指標の概要	年間火災件数									
現状値(H22)	80件									
目標値(H32)	72件									
備考										
《基本目標の概要》 大規模複雑化する火災や災害にも対応できる消防力の整備が進んでいる。 市民の防火・防災意識が高まり、消防団のきめ細かな活動など地域の消防力が高まっています。										

基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
タイトル										
概要文		<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">指標の概要</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状値( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要		現状値( )		目標値(H32)		備考	
指標の概要										
現状値( )										
目標値(H32)										
備考										

基本目標	主な取組	主な指標《基本目標を測定する指標》								
タイトル										
概要文		<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">指標の概要</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状値( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値(H32)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffff00;">備考</td> <td></td> </tr> </table>	指標の概要		現状値( )		目標値(H32)		備考	
指標の概要										
現状値( )										
目標値(H32)										
備考										